

Mr.Ohishi から飛んでくると予感あった表題ボールをキャッチ。 返球を記してみます。

大概是、日本特派員等スタッフからの当地メディア報道や取材した内容の伝えで、ご承知のことと思われるのですが、先ずは、何故にドイツはこの難民受け入れに寛大なのかについて、これは、ドイツ基本法(憲法に相当)に則り、ナチス時代のユダヤ人迫害(排斥)への反省から、「難民庇護はドイツ国の義務」という解釈でもって寛大な難民受け入れ政策をとってきたのが所以とされ、メルケン首相は、難民問題は欧州にとってギリシャの財政問題の救済よりも重要になると、強い危機感を示しています。

そんなわけでメルケン首相は、EU 加盟国(国数 27 か国、ユーロ導入は 16 ヵ国) で難民受け入れの「公平な割り当て」<現時点での割り当てはドイツを頭に、フランス、スペインの準で続く>が必要だと主張し、仲良しのフランスなどの協力を得て実現を図るべく、近々に EU 法相・内相理事会と首脳会議で話し合うことにして、経済水準が低い国もあり、欧州へ流入する迫害から保護すべき難民(2015 年だけでも約 80 万人の難民が流入するとの予測) と、就労目的の不法移民(数字の予測は無し) の選別策の問題もあり、人権重視の理念を掲げる欧州連合(EU)が加盟国間で重荷を分担し、円滑な受け入れ体制を整えることができるのか、今後の成り行きが注目されています。

一方では、ローマ法王が、バチカン日曜恒例の祈りの集会で、欧州に押し寄せている難民について、欧州全ての教区、修道院、教会は、それぞれ 1 家族?を受け入れてほしいと呼びかけたニュースの報道もあります。

ドイツ国は、難民申請者 1 人に対して、申請中の食費、宿泊費、医療費、毎月の手元金等、年に 1 万 2000 ユーロ(約 160 万)ほどの費用がかかることになると予測。独紙の算出では、移民流入による今年の負担予測はおよそ 1 兆 3200 億円にのぼるそうで、メルケン首相への風当たりがないわけではなく、首相も懸念するところのようです。

この難民申請者への生活費支給など手厚い保護も一因で、難民の殺到を招いていることに対して、市民感情は、多くを抱えすぎると職を奪われかねないので制限すべしとか、難民者厚遇の反感や風貌の異なる人々の急増で対応を間違えると居住環境が悪化するなどの意見もある中、どちらを向くかという、ドイツ国に負担のしわ寄せは「誇りに思う」という多くの支持があるのを見ると、ドイツの失業率は、現在東西統一以降で最低水準となっていて経済的に堅調なことに加え、人道的見地からも賞賛したいという思いを持つ方の意識も多く、これは歴史的背景からきているのかも知れません。

また一方では、ドイツでの難民保護をめぐるのは、今に始まった人道的な責務以外に、根底に急速な高齢化と出生率の低下により優秀な人材が徐々に減少し始めていることで、将来を見据えた人材の確保といった側面で、産業界からも受け入れに前向きな姿勢が伺えて、ドイツ経営者団体連盟(BDA)の推計によると、エンジニアやプログラマー、技術者などが 10 万人を超えた人員が不足している他、医療従事者やレジャー産業でも人手が足りない状態が続いているとのデータがはじき出されているとのことです。 以上簡略ながらこの辺で了とします。ご参考までに次ページに、おそらくまだ報じられてないニュースを日本語で添付します。

地元紙からのピックアップです (2015-9-7)

＝難民対策に 60 億ユーロ＝

ドイツ政府、追加拠出を決定。

ドイツ政府は、6日夜、難民対策に 60 億ユーロを追加で拠出することを決めた。ただし亡命申請者に対する現金支給を削減するほか、西バルカン諸国を「安全地域」に認定し同地域からの亡命申請者の送還を加速させるとダウ・ジョーンズなどが伝えた。

ハンガリーからオーストリア経由でドイツにたどり着いた難民は、5～6日だけで約1万 8,000 人に上り、今年の難民受け入れ規模は、80 万人(これは先の報道に同じ)に達すると予想され、対応が迫られている。

政府は、60 億ユーロのうち 30 億ユーロを難民の受け入れセンターや住宅の整備、現金などの支給に充て、残り 30 億ユーロを地方自治体に難民関連費用として提供する。警官の増員や難民向けドイツ語教育などへの予算も増やす一方で、新たな亡命申請者に対しては現金支給を削減し、できる限り現物支給に切り替える。また、従来の最大6カ月の前払いを1カ月に制限する。

他方では、西バルカンのコソボ、アルバニア、モンテネグロの3カ国については「安全地域」と認定する法改正案を提示しており、同地域からの亡命申請者の審査期間を短縮する方針。今年上半期(1～6月)にドイツが受理した亡命申請の約46%は同地域の出身者だが、認定されるのは0.1～0.2%にすぎないという。

なお欧州委員会は、ギリシャやイタリア、ハンガリーなどに押し寄せている難民について、9日にも加盟各国に約 12 万人の受け入れを割り当てる予定。